

Sen'i Gakkaishi
(Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

繊維学会誌

新春企画特集 〈最近の学会賞に見る繊維科学の進展〉



2018 Vol.74 1

一般社団法人 繊維学会

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
多摩テクノプラザ

複合素材開発セクター

撚糸加工、生地試作、生地プリント加工、CFRP成形などの研究・開発や試作品づくりまで行えます。また、物性試験、染色堅ろう度試験、各種分析を実施し、製品の評価(成績証明書発行)やクレーム解析などを行っています。

- 高機能繊維材料 . . . 撚糸、組紐、織物、編物、不織布、生地プリント
- 繊維強化複合材料 . . . CFRP成形、プラズマ表面処理
- 繊維・材料評価 . . . 機器分析・試験、クレーム解析



生地の開発



糸の加工



CFRP成形



生地プリント



非破壊検査



物性試験



機器分析



環境試験



表面観察

他にもさまざまな機器をそろえています。
開発・試作から評価までご相談ください。

【アクセス】

東京都昭島市東町3-6-1 JR青梅線西立川駅下車 徒歩7分(産業サポートスクエア・TAMA内)

【連絡先】

TEL:042-500-2300 FAX:042-500-2397

<http://www.iri-tokyo.jp/site/fukugo/>



人が人らしく
安心して暮らせる
インフラを皆様に



 **前田工織株式会社**

<http://www.maedakosen.jp/mdk>

東京本社／東京営業部 〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町9番9号 ユニゾ久松町清洲橋通りビル 4F・5F

福井本社 〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3

☎ (03)3663-7897 / 昌 (03)3663-9930
☎ (0776)51-3535 / 昌 (0776)51-3545

おむつは、赤ちゃんの
“気持ちいい”で選ぼう!



メリーズは、まるで

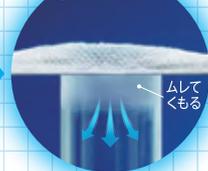
呼吸するおむつ。

赤ちゃん
気持ちいい研究室

おしっこを
じんぐん吸収して



いやなムシだけ
はき出す!



【実験条件】おむつ:当社Sサイズ / 水:15cc・36.5°C



※インテージSRI調べ
2007年7月～2017年6月
ベビー用紙おむつ市場ブランド別
(テープ・パンツ計)金額シェア



業界待望の入門書!!

基礎から最先端までを網羅した
必携書2冊をご活用ください

JTCCの繊維技術士15名が伝承した「せんい」のバイブル

業界マイスターに学ぶ

繊維産業の全工程
川上-川中-川下を1冊に集大成

せんいの基礎講座

- 監修：一般社団法人 繊維学会
- 編集：一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)
- 発行：株式会社 繊維社 企画出版
<https://www.sen-i.co.jp>
- 体裁：A5判 428ページ カバー巻き
- 定価：本体 3,000円 + 税

繊維学会誌連載講座を書籍化

大学・専門学校の教育用に —
繊維技術のスキルアップに —
座右の名著をご活用下さい!!

「ナノファイバー」の今を知り、未来を創る！
次代の繊維産業の架け橋につなぐ、この1冊

Sky-high Nanofibers in the Future

新しい扉を拓く ナノファイバー

— 進化するナノファイバー最前線 —

八木 健吉 著

[元 東レ(株)、一般社団法人 日本繊維技術士センター 副理事長]

- 体裁：A5判 200ページ カバー巻き
- 定価：本体 2,500円 + 税

- 第1章 細い繊維への流れ
- 第2章 フィラメント技術によるナノファイバー製造技術
- 第3章 不織布技術によるナノファイバー製造技術
- 第4章 解繊技術によるナノファイバー製造技術
- 第5章 自己成長性のナノファイバー製造技術
- 第6章 ナノファイバーの用途展開
- 第7章 ナノファイバーの今後の展望



● お申し込みは — 電話 / HP / E-mail で

株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル5F)
Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899
E-mail: info@sen-i.co.jp <https://www.sen-i.co.jp>



ホームページリニューアル

繊維技術データベース開始しました!!

入門・教育用に、新商品・新技術開発にご活用ください。

謹 賀 新 年

(維 持 会 員)

旭化成株式会社

上席執行役員 工藤 幸四郎
繊維事業本部長
大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル
TEL:06-7636-3035 (〒530-8205)
<http://www.asahi-kasei.co.jp/>

東洋紡株式会社

代表取締役社長 檜原 誠 慈
大阪市北区堂島浜2-2-8
TEL:06-6348-3111 (〒530-8230)
<http://www.toyobo.co.jp/>

王子ホールディングス株式会社

代表取締役社長 矢嶋 進
東京都中央区銀座4-7-5
TEL:03-3563-1111 (〒104-0061)
<http://www.ojiholdings.co.jp>

東レ株式会社

代表取締役社長 日覺 昭 廣
東京都中央区日本橋室町2-1-1
TEL:03-3245-5111 (〒103-8666)
<http://www.toray.co.jp/>

倉敷紡績株式会社

代表取締役社長 藤田 晴 哉
大阪府中央区久太郎町2-4-31
TEL:06-6266-5111 (〒541-8581)
<http://www.kurabo.co.jp>

日本化学繊維協会

理事長 上田 英 志
東京都中央区日本橋本町3-1-11(繊維会館)
TEL:03-3241-2311 (〒103-0023)
<http://www.jcfa.gr.jp>

株式会社クラレ

代表取締役社長 伊藤 正 明
東京都千代田区大手町1-1-3(大手センタービル)
TEL:03-6701-1000 (〒100-8115)
<http://www.kuraray.co.jp/>

富士紡ホールディングス株式会社

代表取締役会長兼社長 中野 光 雄
東京都中央区日本橋人形町1-18-12
TEL:03-3665-7777 (〒103-0013)
<http://www.fujibo.co.jp>

帝人株式会社

代表取締役社長執行役員 鈴木 純
東京都千代田区霞が関3-2-1(霞が関コモンゲート西館)
TEL:03-3506-4529 (〒100-8585)
<http://www.teijin.co.jp/>

三菱ケミカル株式会社

代表取締役社長 越智 仁
東京都千代田区丸の内1-1-1(パレスビル)
TEL:03-6748-7300 (〒100-8253)
<https://www.m-chemical.co.jp/>

東邦テナックス株式会社

代表取締役社長 乾 秀 桂
東京都千代田区霞が関3-2-1(霞が関コモンゲート西館)
TEL:03-3506-6800 (〒100-8585)
<http://www.tohotenax.com>

ユニチカ株式会社

代表取締役社長 注連 浩 行
大阪府中央区久太郎町4-1-3
TEL:06-6281-5221 (〒541-8566)
<http://www.unitika.co.jp>

謹 賀 新 年

(賛 助 会 員)

<p>旭化成株式会社 技術開発総部</p> <p>総部長 加藤 哲 男</p> <p>〒524-0002 滋賀県守山市小島町 515 TEL: 077-581-4730 http://www.asahi-kasei.co.jp/</p>	<p>花 王 株 式 会 社</p> <p>執行役員 研究開発部門統括 長谷部 佳 宏</p> <p>〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL: 03-5630-9000 http://www.kao.com/jp/</p>
<p>株式会社 ア シ ッ ク ス</p> <p>代表取締役会長兼社長 CEO 尾 山 基</p> <p>〒650-8555 兵庫県神戸市中央区港島中町 7-1-1 TEL: 078-303-2231 http://www.asics.co.jp/</p>	<p>一般財団法人 カケンテストセンター</p> <p>理事長 長 尾 梅太郎</p> <p>〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-1-22 日本橋室町四丁目ビル 5 階 TEL: 03-3241-7319 http://www.kaken.or.jp</p>
<p>株式会社 ア デ ラ ン ス</p> <p>代表取締役社長 津 村 佳 宏</p> <p>〒160-0067 東京都新宿区荒木町 13-4 住友不動産四谷ビル 7F TEL: 03-3350-3258 http://www.aderans.co.jp/corporate/</p>	<p>株式会社 カ ネ カ</p> <p>代表取締役社長 角 倉 護</p> <p>〒530-8288 大阪市北区中之島 2-3-18 中之島フェスティバルタワー TEL: 06-6226-5050 http://www.kaneka.co.jp</p>
<p>綾 羽 株 式 会 社</p> <p>取締役社長 河 本 英 典</p> <p>〒541-0054 大阪市中央区南本町 3-6-14 TEL: 06-6282-1075 http://www.ayaha.co.jp</p>	<p>株式会社 K A N Z A C C</p> <p>代表取締役社長 墨 谷 義 則</p> <p>〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 7 階 TEL: 06-4706-2525 http://www.kanzacc.co.jp/</p>
<p>飯 田 織 工 株 式 会 社</p> <p>取締役社長 片 平 晴 夫</p> <p>〒533-0022 大阪府大阪市東淀川区菅原 2-2-104 TEL: 06-6328-3333 http://dns.iidasenko.co.jp/</p>	<p>株式会社 金 陽 社</p> <p>代表取締役社長 中 田 恵 二</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎 1-2-2 アートビレッジ大崎セントラルタワー 6F TEL: 03-5745-6200 http://www.kinyo-j.co.jp/</p>
<p>公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団</p> <p>理事長 石本 和之</p> <p>〒543-8921 大阪府大阪市天王寺区堂ヶ芝 1-11-3 (株)デサント内 TEL: 06-6774-0364 http://www.descente.co.jp/ishimoto</p>	<p>岐 セ ン 株 式 会 社</p> <p>代表取締役社長 後 藤 勝 則</p> <p>〒501-0234 岐阜県瑞穂市牛牧 758 TEL: 058-326-8123 http://www.gisen.co.jp</p>
<p>イ チ カ ワ 株 式 会 社</p> <p>代表取締役社長 牛 尾 雅 孝</p> <p>〒113-8442 東京都文京区本郷 2-14-15 TEL: 03-3816-1111 http://www.ik-felt.co.jp</p>	<p>岐阜県産業技術センター</p> <p>所長 横 山 久 範</p> <p>〒501-6064 岐阜県羽島郡笠松町北及 47 TEL: 058-388-3151 http://www.iri.rd.pref.gifu.lg.jp/</p>
<p>宇部興産株式会社 研究開発本部</p> <p>執行役員 本部長 横 田 守 久</p> <p>〒755-8633 山口県宇部市大字小串 1978-5 TEL: 0836-31-2125 http://www.ube-ind.co.jp</p>	<p>クラトレーディング株式会社</p> <p>代表取締役 村 井 研 三</p> <p>〒530-8611 大阪市北区角田町 8-1 梅田阪急ビルオフィスタワー 39F TEL: 06-7635-1600 http://www.kuraray-trading.co.jp</p>

<p>K B セ ー レ ン 株 式 会 社 代表取締役社長 衣 笠 順 三 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 14,15F TEL:06-6345-5044 http://www.kbseiren.com</p>	<p>セ ー レ ン 株 式 会 社 代表取締役会長兼最高経営責任者 川 田 達 男 〒918-8560 福井市毛矢 1-10-1 TEL:0776-35-2111 http://www.seiren.com</p>
<p>コ ー テ ッ ク 株 式 会 社 取締役社長 朝 田 貴久美 〒503-0847 岐阜県大垣市米野町 3-30 TEL:0584-89-1611 http://www.kotec-ltd.co.jp</p>	<p>株 式 会 社 ソ ト ー 代表取締役社長 高 岡 幸 郎 〒494-8501 愛知県一宮市籠屋 5-1-1 TEL:0586-45-8305 http://www.sotoh.co.jp</p>
<p>独立行政法人 国立印刷局研究所 研究所長 内 堀 繁 三 〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂 6-4-20 TEL:0465-49-4208 http://www.npb.go.jp/</p>	<p>竹 本 油 脂 株 式 会 社 代表取締役社長 竹 本 元 泰 〒443-8611 愛知県蒲郡市港町 2-5 TEL:0533-68-2111 http://www.takemoto.co.jp</p>
<p>小 松 精 練 株 式 会 社 代表取締役社長 池 田 哲 夫 〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ 167 TEL:0761-55-1111 http://www.komatsuseiren.co.jp</p>	<p>ダイキン工業株式会社 化学研究開発センター 化学事業部 副事業部長(商品事業化推進担当) 河 野 聖 〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 TEL:06-6349-5332 http://www.daikin.co.jp/</p>
<p>サカイオーベックス株式会社 代表取締役社長 松 木 伸太郎 〒918-8530 福井市花堂中 2-15-1 TEL:0776-36-5800 http://www.sakaiovox.co.jp/</p>	<p>株 式 会 社 ダ イ セ ル 代表取締役社長 札 場 操 〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪タワー B TEL:06-7639-7171 http://www.daicel.com</p>
<p>株 式 会 社 山 東 鐵 工 所 代表取締役社長 河 井 恒 治 〒641-0043 和歌山市宇須 4-4-5 TEL:073-423-9311 http://www.sando.co.jp</p>	<p>大 日 精 化 工 業 株 式 会 社 代表取締役社長 高 橋 弘 二 〒103-8383 東京都中央区日本橋馬喰町 1-7-6 TEL:03-3662-7111 http://www.daicolor.co.jp</p>
<p>住 江 織 物 株 式 会 社 代表取締役会長兼社長 吉 川 一 三 〒542-8504 大阪市中央区南船場 3-11-20 TEL:06-6251-6801 http://suminoe.jp/</p>	<p>津 田 駒 工 業 株 式 会 社 代表取締役社長 高 納 伸 宏 〒921-8650 石川県金沢市野町 5-18-18 TEL:076-242-1110 http://www.tsudakoma.co.jp</p>
<p>S p i b e r 株 式 会 社 取締役兼代表執行役 関 山 和 秀 〒997-0052 山形県鶴岡市覚岸寺字水上 234-1 TEL:0235-25-3907 http://www.spiber.jp</p>	<p>帝 国 織 維 株 式 会 社 代表取締役社長 白 岩 強 〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-1-10 柳屋ビル TEL:03-3281-3025 http://www.teisen.co.jp</p>

<p>株式会社 デサント 代表取締役社長 石本雅敏 〒543-8921 大阪府大阪市天王寺区堂ヶ芝1-11-3 TEL:06-6774-0365 http://www.descente.co.jp</p>	<p>東レ株式会社 繊維研究所 所長 荒西義高 〒411-8652 静岡県三島市4845 TEL:055-989-2770 http://www.toray.co.jp</p>
<p>デンカ株式会社 大船工場 工場長 高橋和男 〒247-8510 神奈川県鎌倉市台2-13-1 TEL:0467-45-1110 http://www.denka.co.jp</p>	<p>特種東海製紙株式会社 代表取締役社長 松田裕司 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-4-1 ユニゾ八重洲ビル6階 TEL:03-3273-8281 http://www.tt-paper.co.jp/</p>
<p>東海染工株式会社 代表取締役社長 八代芳明 〒451-6008 名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビルヂング8階 TEL:052-856-8141 http://www.tokai-senko.co.jp</p>	<p>所沢織物商工協同組合 理事長 細田和男 〒358-0053 埼玉県入間市大字仏子766 TEL:04-2932-1261</p>
<p>地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 理事長 奥村次徳 〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10 TEL:03-5530-2111 http://www.iri-tokyo.jp</p>	<p>株式会社 巴川製紙所 代表取締役社長 井上善雄 〒104-8335 東京都中央区京橋1-7-1 TODA BUILDING2階 TEL:03-3561-7120 http://www.tomoegawa.co.jp</p>
<p>東伸工業株式会社 代表取締役 一ノ瀬孝一 〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘9-11-36 TEL:06-6438-0901 http://www.toshin-kogyo.co.jp</p>	<p>株式会社 豊田自動織機 代表取締役会長 豊田鐵郎 〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2-1 TEL:0566-22-2511 http://www.toyota-shokki.co.jp/</p>
<p>東ソ一株式会社 高分子材料研究所 所長 阿部成彦 〒510-8540 三重県四日市市霞1-8 TEL:059-364-1110 http://www.tosoh.co.jp/</p>	<p>トヨタ紡織株式会社 取締役社長 石井克政 〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町1-1 TEL:0566-23-6611 http://www.toyota-boshoku.com</p>
<p>東洋ゴム工業株式会社 中央研究所 所長 下村哲生 〒666-0031 兵庫県川西市矢間3-10-1 TEL:072-789-1400 http://http://www.toyo-rubber.co.jp</p>	<p>株式会社 ニチビ 取締役社長 中村恭範 〒104-0044 東京都中央区明石町6-4 ニチレイ明石町ビル6F TEL:03-6264-0757 http://www.nitivity.co.jp</p>
<p>東洋紡株式会社 総合研究所 総合研究所長 高瀬敏 〒520-0292 滋賀県大津市堅田2-1-1 TEL:077-571-0003 http://www.toyobo.co.jp</p>	<p>日華化学株式会社 代表取締役社長 江守康昌 〒910-8670 福井県福井市文京4-23-1 TEL:0776-24-0213 http://www.nicca.co.jp</p>

<p>日清紡テキスタイル株式会社</p> <p>代表取締役社長 馬場 一 訓</p> <p>〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町 2-31-11 TEL: 03-5695-8801 http://www.nisshinbo-textile.co.jp</p>	<p>日本ノズル株式会社</p> <p>代表取締役社長 三宅 康 雄</p> <p>〒651-2241 神戸市西区室谷2-1-1 神戸ハイテクパーク内 TEL: 078-991-6821 http://www.nippon-nz.com/</p>
<p>日東紡績株式会社</p> <p>取締役代表執行役社長 辻 裕 一</p> <p>〒102-8489 東京都千代田区麹町 2-4-1 麹町大通りビル TEL: 03-4582-5111 http://www.nittobo.co.jp/</p>	<p>日本バイリーン株式会社</p> <p>代表取締役社長執行役員、CEO 川 村 智</p> <p>〒104-8423 東京都中央区築地 5-6-4 浜離宮三井ビルディング TEL: 03-4546-1112 http://www.vilene.co.jp</p>
<p>日本エクスラン工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 坂 元 亮 一</p> <p>〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-2-8 東洋紡ビル 6F TEL: 06-6348-3431 http://www.exlan.co.jp</p>	<p>日本フェルト株式会社</p> <p>取締役社長 社長執行役員 芝 原 誠 一</p> <p>〒115-0055 東京都北区赤羽西 1-7-1 パルロード 3 TEL: 03-5993-2030 http://www.felt.co.jp/</p>
<p>日本蚕毛染色株式会社</p> <p>代表取締役社長 富 部 純 子</p> <p>〒612-8338 京都市伏見区舞台町 35 TEL: 075-601-8281 http://www.sanmo.co.jp</p>	<p>藤森工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 布 山 英 士</p> <p>〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 10F TEL: 03-6381-4211 http://www.zacros.co.jp</p>
<p>日本製紙株式会社</p> <p>代表取締役社長 馬 城 文 雄</p> <p>〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 TEL: 03-6665-1111 http://www.nipponpapergroup.com</p>	<p>フレックスジャパン株式会社</p> <p>代表取締役社長 矢 島 隆 生</p> <p>〒387-8601 長野県千曲市屋代 2451 TEL: 026-261-3000 http://www.flexjapan.co.jp/</p>
<p>一般社団法人 日本繊維技術士センター</p> <p>代表理事 井 塚 淑 夫</p> <p>〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-9 輸出繊維会館6階 TEL: 06-6484-6506 http://www.jtcc.or.jp/</p>	<p>株式会社 ブリヂストン</p> <p>取締役 代表執行役 CEO 兼 取締役会長 津 谷 正 明</p> <p>〒104-8340 東京都中央区京橋 3-1-1 TEL: 03-6836-3001 http://www.bridgestone.co.jp/</p>
<p>一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター</p> <p>理事長 奥 田 利 治</p> <p>〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 7-19 TEL: 03-3666-5384 https://www.qtec.or.jp/</p>	<p>一般財団法人 ボーケン品質評価機構</p> <p>理事長 堀 場 勇 人</p> <p>〒540-0005 大阪市中央区上町 1-18-15 TEL: 06-6762-5881 http://www.boken.or.jp</p>
<p>日本たばこ産業株式会社 たばこ中央研究所</p> <p>所長 志 方 比 呂 基</p> <p>〒227-8512 横浜市青葉区梅が丘 6-2 TEL: 045-973-5611 http://www.jti.co.jp/</p>	<p>ポリプラスチック株式会社</p> <p>代表取締役社長 塩 飽 俊 雄</p> <p>〒108-8280 東京都港区港南 2-18-1 JR 品川イーストビル 13F TEL: 03-6711-8640 http://www.polyplastics.com/</p>

<p>松本油脂製薬株式会社</p> <p>代表取締役社長 木村直樹</p> <p>〒581-0075 大阪府八尾市渋川町2-1-3 TEL:072-991-1001 http://www.mtmtys.co.jp/</p>	<p>御幸毛織株式会社</p> <p>取締役社長 吉田直人</p> <p>〒452-8570 名古屋市西区市場木町390 TEL:052-307-1080 http://www.miyukikeori.co.jp</p>
<p>丸善石油化学株式会社 研究所</p> <p>新商品開発室 室長 竹森利郁</p> <p>〒290-8503 千葉県市原市五井南海岸3番地 TEL:0436-22-3242 http://www.chemiway.co.jp/</p>	<p>明成化学工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 貴志宏史</p> <p>〒615-8666 京都市右京区西京極中沢町1 TEL:075-312-8101 http://www.meisei-chem.co.jp/</p>
<p>ミズノ株式会社</p> <p>代表取締役社長 水野明人</p> <p>〒559-8510 大阪市住之江区南港北1-12-35 TEL:06-6614-8000 http://www.mizuno.co.jp</p>	<p>株式会社モンベル</p> <p>代表取締役 辰野 勇</p> <p>〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2 TEL:06-6531-4789 http://www.montbell.com</p>
<p>三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社</p> <p>常務執行役員技術センター長 駒谷隆志</p> <p>〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5-6-2 TEL:0463-21-8610 http://www.m-ep.co.jp/</p>	<p>ヤマシンフィルタ株式会社</p> <p>代表取締役社長 山崎敦彦</p> <p>〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル16F TEL:045-680-1671 http://yamashin-filter.co.jp/</p>
<p>三菱ケミカル株式会社 長浜研究所</p> <p>所長 山田紳月</p> <p>〒526-8660 滋賀県長浜市三ツ矢町5-8 TEL:0749-65-5156 http://www.mpi.co.jp/</p>	<p>ユニ・チャーム株式会社</p> <p>代表取締役 社長執行役員 高原豪久</p> <p>〒108-8575 東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館 TEL:03-3451-5111 http://www.unicharm.co.jp/</p>
<p>三菱製紙株式会社</p> <p>取締役社長 鈴木邦夫</p> <p>〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14 TEL:03-5600-1488 http://www.mpm.co.jp/</p>	<p>横浜ゴム株式会社</p> <p>代表取締役社長 山石昌孝</p> <p>〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 TEL:03-5400-4531 http://www.y-yokohama.com</p>
<p>三ツ星ベルト株式会社</p> <p>代表取締役社長 垣内 一</p> <p>〒653-0024 神戸市長田区浜添通4-1-21 TEL:078-685-5071 http://www.mitsuboshi.co.jp</p>	<p>ライオン株式会社</p> <p>代表取締役社長 濱 逸夫</p> <p>〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7 TEL:03-3621-6211 http://www.lion.co.jp/</p>
<p>株式会社ミマキエンジニアリング</p> <p>技術本部 副本部長 齋藤 治</p> <p>〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3 TEL:0268-64-2281 http://ir.mimaki.com/</p>	

謹 賀 新 年

織 維 学 会 役 員

会 長	鞠 谷 雄 士 (東 工 大)	理 事	井 上 真 理 (神 戸 大)
副会長	木 村 邦 生 (岡 山 大) 運営委員長	〃	森 川 英 明 (信 州 大)
〃	荻 野 賢 司 (東 農 工 大) 企画委員長	〃	池 永 秀 雄 (旭 化 成)
〃	神 山 統 光 (帝人フロンティア) 財務委員長	〃	荒 西 義 高 (東 大)
理 事	伊 藤 浩 志 (山 形 大) 東北・北海道支部長	〃	林 敏 昭 (東 洋 紡)
〃	岩 田 忠 久 (東 大) 関東支部長	〃	山 本 洋 (三菱ケミカル)
〃	仲 井 朝 美 (岐 阜 大) 東海支部長	〃	田 中 次 郎 (ク ラ レ)
〃	末 信 一 朗 (福 井 大) 北陸支部長	〃	香 出 健 司 (ユ ニ チ カ)
〃	浦 川 宏 (京 工 織 大) 関西支部長	〃	牟 田 神 省 吾 (KBセーレン)
〃	門 川 淳 一 (鹿 児 島 大) 西部支部長	〃	勝 野 晴 孝 (日清紡テキスタイル)
〃	土 田 亮 (岐 阜 大) 織維学会誌編集委員長	〃	坂 涉 (花 王)
〃	鬘 谷 要 (和洋女子大) JFST 編集委員長	〃	寺 尾 知 之 (王子ホールディングス)
〃	奥 林 里 子 (京 工 織 大) 国際交流委員長	〃	杉 本 健 一 (ブリヂストン)
〃	戸 木 田 雅 利 (東 工 大) 会員増強・HP 委員長	監 事	平 井 利 博 (信州大名誉)
〃	大 松 沢 明 宏 (化 織 協 会)	〃	村 瀬 浩 貴 (共立女子大)
〃	大 泉 幸 乃 (東 京 都 産 技 研 七)	〃	菅 沼 薫 (FCG 総合研究所)
〃	辻 井 敬 亘 (京 都 大)		

運 営 委 員 会

委 員 長	木 村 邦 生 (岡 山 大)		
委 員	鞠 谷 雄 士 (東 工 大)	荻 野 賢 司 (東 農 工 大)	神 山 統 光 (帝人フロンティア)
	岩 田 忠 久 (東 大)	土 田 亮 (岐 阜 大)	鬘 谷 要 (和洋女子大)
	戸 木 田 雅 利 (東 工 大)	奥 林 里 子 (京 工 織 大)	

財 務 委 員 会

委 員 長	神 山 統 光 (帝人フロンティア)		
委 員	鞠 谷 雄 士 (東 工 大)	木 村 邦 生 (岡 山 大)	荻 野 賢 司 (東 農 工 大)

企 画 委 員 会

委 員 長	荻 野 賢 司 (東 農 工 大)		
副委員長	菅 沼 薫 (FCG 総合研究所)		
委 員	井 上 真 理 (神 戸 大)	岩 田 忠 久 (東 大)	齋 藤 継 之 (東 大)
	村 瀬 浩 貴 (共立女子大)	佐 藤 真 理 子 (文 学 学 園 大)	平 田 雄 一 (信 州 大)
	宝 田 亘 (東 工 大)	金 丸 亮 二 (富 山 工 技 七)	林 浩 司 (岐 阜 産 技 七)
	近 藤 幸 江 (福 井 工 技 七)	添 田 心 (東 京 都 産 技 研 七)	山 崎 斉 (旭 化 成)
	田 中 次 郎 (ク ラ レ)	船 津 義 嗣 (東 大)	田 中 潤 (ユ ニ チ カ ト レー ディング)
	坂 涉 (花 王)	原 憲 子 (ラ イ オ ン)	杉 本 健 一 (ブリヂストン)

「繊維学会誌」編集委員会

委員長 土田 亮(岐阜大)
副委員長 鬘谷 要(和洋女子大) 出口 潤子(旭化成)
委員 植野 彰文(KBセーレン) 大江 猛(大阪産技研) 大島 直久(東海染工) 金 翼水(信州大)
澤田 和也(大阪成蹊短大) 杉浦 直久(京都産技研) 高崎 緑(京工織大) 田村 篤男(帝人)
寺本 喜彦(東洋紡) 西田 幸次(京大) 西村 高明(王子ホールディングス) 増田 正人(東レ)
村上 泰(信州大) 山本 洋(三菱ケミカル) 吉田 耕二(ユニカトレーディング)
顧問 浦川 宏(京工織大) 松下 義弘(京工織大)

「J. Fiber Sci. Technol.」編集委員会

委員長 鬘谷 要(和洋女大)
副委員長 塩谷 正俊(東工大)
委員 金井 博幸(信州大) 上高原 浩(京大) 河原 豊(群馬大) 北岡 卓也(九州大)
木村 邦生(岡山) 久保野 敦史(静岡) 澤渡 千枝(静岡) 武野 明義(岐阜大)
趙 顯或(釜山) 登阪 雅聡(京大) 花田 美和子(神戸松蔭女子大) 久田 研次(福井大)
堀場 洋輔(信州大) 山根 秀樹(京工織大) 吉水 広明(名工大)

会員増強・HP委員会

委員長 戸木田 雅利(東工大)
委員 荻野 賢司(東農工大) 川内 進(東工大)

研究委員会(12研究委員会)

櫻井 伸一(京工織大)	繊維基礎科学研究委員会
安永 秀計(京工織大)	染色研究委員会
増子 富美(日本女子大)	繊維加工研究委員会
西松 豊典(信州大)	感覚と計測研究委員会
平井 郁子(大妻女子大)	被服科学研究委員会
江前 敏晴(筑波大)	紙パルプ研究委員会
渡辺 敏行(東農工大)	オプティックスとエレクトロニクス有機材料研究委員会
辻井 敬亘(京大)	先端繊維素材研究委員会(AFMc)
徳山 孝子(神戸松蔭女子大)	研究委員会「感性研究フォーラム」
奥林 里子(京工織大)	超臨界流体研究委員会
松本 英俊(東工大)	ナノファイバー技術戦略研究委員会
敷中 一洋(産総研)	若手研究委員会

国際交流委員会(米国繊維学会春季大会準備担当)

委員長 鞠谷 雄士(東工大)
委員 井上 真理(神戸大) 奥林 里子(京工織大) 鬘谷 要(和洋女子大)
鋤柄 佐千子(京工織大) 宝田 亘(東工大) 戸木田 雅利(東工大)
平井 利博(信州大名誉) 皆川 雅朋(元山形大)

2018年度 主要3大行事实行委員長

委員長 山延 健(山形大) 年次大会
委員長 浦川 宏(京工織大) 第48回夏季セミナー
委員長 末 信一郎(福井大) 秋季研究発表会



織 維 学 会 誌

2018年1月 第74巻 第1号 通巻 第862号

目 次

時 評 繊維の価値創造

鞠谷 雄士 P-1

新春企画特集 〈最近の学会賞に見る繊維科学の進展〉

平成 24 年度 (2012 年)

異方的機能を持つナノ・マイクロファイバー集合体の創製

木村 睦 P-2

固体界面における高分子の凝集状態と熱運動特性

田中 敬二 P-6

平成 25 年度 (2013 年)

超臨界流体を用いた繊維の機能加工

奥林 里子 P-10

紙の構造が決め手の触媒材料の新展開

北岡 卓也 P-16

液晶性高分子の構造と物性にみる高分子性と液晶性の影響

戸木田雅利 P-20

平成 26 年度 (2014 年)

水生昆虫由来のシルク様繊維をつくるタンパク質

大川 浩作・野村 隆臣 P-26

配向した高分子の結晶化に関する新概念

登阪 雅聡 P-30

平成 27 年度 (2015 年)

ポリビニルアルコールを利用した機能性ナノ繊維の開発

中根 幸治 P-35

ナノファイバー材料のさらなる機能開拓を目指して

松本 英俊 P-39

平成 28 年度 (2016 年)

溶融延伸による高性能繊維・膜の創製

上原 宏樹 P-44

繊維学会創立70周年記念連載 〈技術が支えた日本の繊維産業—生産・販売・商品開発の歩み—52〉

繊維産地の盛衰(22) ニット産地の発展 中(戦前編)

松下 義弘 P-49



Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 74, No. 1 (January 2018)

Contents

Foreword

Value Creation of Fibers

Takeshi KIKUTANI P-1

New Year Special Issue on the Recent Award of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

2012

Fabrication of Textile-Based Devices Using Aligned Nano/Microfibrous
Assemblies

Mutsumi KIMURA P-2

Aggregation States and Thermal Molecular Motion of Polymer Chains at Solid
Interfaces

Keiji TANAKA P-6

2013

Functionalization of Fibers Using Supercritical Fluid

Satoko OKUBAYASHI P-10

New Frontier of Paper-Structured Catalysts

Takuya KITAOKA P-16

Effects of Polymer Characteristics and Liquid Crystallinity on Structures and
Properties of Liquid Crystal Polymers

Masatoshi TOKITA P-20

2014

Silk Proteins from Caddisfly Larva, *Stenopsyche marmorata*

Kousaku OHKAWA and Takaomi NOMURA P-26

New Concept on Crystallization of Oriented Polymer

Masatoshi TOSAKA P-30

2015

Development of Functional Nanofibers Using Polyvinyl Alcohol

Koji NAKANE P-35

Endeavors towards Function Exploration of Nanofibrous Materials

Hidetoshi MATSUMOTO P-39

2016

Development of High-Performance Fibers and Membranes by Melt-Drawing Technique

Hiroki UEHARA P-44

Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

—History of the Production, Sales, and Product Development—52

Rise and Fall of Textile-Producing Regions (22)

Yoshihiro MATSUSHITA P-49



Journal of Fiber Science and Technology (JFST)

Vol. 74, No. 1 (January 2018)

SPECIAL EDITION on Annual Meeting and Symposium 2017 / 2017 年次大会特集

《Transactions / 一般論文》

- ❖ Difference in Preferential Orientations of Crystal Planes and Crystal Sizes along the Radial Direction of Poly-*p*-Phenylenebenzobisoxazole (PBO) Fibers
Tooru Kitagawa 1
- ❖ Synchrotron SAXS Studies on Lattice Structure of Spherical Micelles in Binary Mixtures of Block Copolymers and Homopolymers
Hideaki Takagi, Ryo Hashimoto, Noriyuki Igarashi, Shunji Kishimoto, and Katsuhiro Yamamoto 10
- ❖ Strain Hardening of Highly Stretchable Elastomeric Composites Reinforced with Well-Defined Nanofiber Network of Bacterial Cellulose
Yoshihiko Shimizu, Keita Sakakibara, and Yoshinobu Tsujii 17
- ❖ TEMPO 酸化セルロースナノファイバーからなるヒドロゲルの力学的物性とゲル化プロセス
後居 洋介・齋藤 継之・磯貝 明 24
Mechanical Properties and Preparing Processes of the TEMPO-Oxidized Cellulose Nanofibers Hydrogels
Yohsuke Goi, Tsuguyuki Saito, and Akira Isogai
- ❖ Effect of Molecular Weight on Physical and Crystallization Properties of UHMW-poly [(*R*)-3-hydroxybutyrate-*co*-(*R*)-3-hydroxyhexanoate]
Taizo Kabe, Takashi Sugiura, Takaaki Hikima, Masaki Takata, and Tadahisa Iwata 30

[2017 年次大会特集]

JFST では、今月号に 2017 年次大会特集を掲載致します。

本特集は 2017 年 6 月に開催された繊維学会年次大会で特別セッションとして企画された「セルロースナノファイバー」「繊維・高分子材料と放射光」の二つの分野を中心に発表された研究の中からご投稿頂いた論文を集めたものです。

年次大会実行委員長東京大学大学院岩田忠久先生、同副実行委員長齋藤継之先生に企画から編集までをご担当頂き実現致しました。

年次大会で注目された研究分野の最新の研究成果を是非ご覧下さい。

Journal of Fiber Science and Technology 編集委員

Journal of Fiber Science and Technology, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬯谷 要 (和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩谷 正俊 (東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	金井 博幸 (信州大学) Hiroyuki Kanai	上高原 浩 (京都大学大学院) Hiroshi Kamitakahara	河原 豊 (群馬大学大学院) Yutaka Kawahara
	北岡 卓也 (九州大学大学院) Takuya Kitaoka	木村 邦生 (岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦史 (静岡大学) Atsushi Kubono
	澤渡 千枝 (静岡大学) Chie Sawatari	武野 明義 (岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯或 (釜山大学校) Hyun Hok Cho
	登阪 雅聡 (京都大学) Masatoshi Tosaka	花田 美和子 (神戸松蔭女子学院大学) Miwako Hanada	久田 研次 (福井大学大学院) Kenji Hisada
	堀場 洋輔 (信州大学) Yohsuke Horiba	山根 秀樹 (京都工業繊維大学大学院) Hideki Yamane	吉水 広明 (名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu

Difference in Preferential Orientations of Crystal Planes and Crystal Sizes along the Radial Direction of Poly-*p*-Phenylenebenzobisoxazole (PBO) Fibers

Tooru Kitagawa

Corporate R&D Administration Department, Toyobo Co., Ltd. 2-8, Dojima Hama 2-chome, Kita-ku, Osaka 530-8230, Japan

This article describes the orientation of the crystal b-axis of poly-*p*-phenylenebenzobisoxazole (PBO) fibers, preferentially in a direction perpendicular to the fiber axis. Although the preferential orientation of the a-axis (i.e. the (200) crystal plane) in the various PBO fibers has already been reported, but to the best of our knowledge, there is a limited number of reports about the preferential orientation of the crystal b-axis of PBO. In order to estimate the degree of preferential orientation of different crystal planes, X-ray diffraction intensities of (010) and ($\bar{2}10$) for PBO were measured along the radial direction of the fiber and analyzed with an extended two-phase model and a micro-focus X-ray diffraction technique. The degree of preferential orientations of the crystal b-axis (i.e. the (010) crystal plane) was successfully estimated. Also, the positional dependence of apparent crystal size along the equator has been elucidated. **J. Fiber Sci. Technol.**, 74(1), 1-9 (2018) doi 10.2115/fiberst.2018-0001 ©2018 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Synchrotron SAXS Studies on Lattice Structure of Spherical Micelles in Binary Mixtures of Block Copolymers and Homopolymers

Hideaki Takagi^{*1}, Ryo Hashimoto^{*1}, Noriyuki Igarashi^{*1}, Shunji Kishimoto^{*1}, and Katsuhiko Yamamoto^{*2}

^{*1} Photon Factory, Institute of Materials Structure Science, High Energy Accelerator Research Organization, 1-1 Oho, Tsukuba, Ibaraki 305-0801, Japan

^{*2} Graduate School of Engineering, Department of Life Science & Applied Chemistry, Nagoya Institute of Technology, Gokiso-cho, Showa-ku, Nagoya 466-8555, Japan

The lattice structures of spherical micelles in binary mixtures of polybutadiene-poly(ϵ -caprolactone) diblock copolymers and polybutadiene homopolymers were investigated using synchrotron small angle X-ray scattering technique. In the blend sample with a weight fraction of added homopolymer (ϕ_{homo}) of 40 wt%, hexagonally packed cylinders were formed, while spherical morphologies were arrayed into the Frank-Kasper σ phase at $\phi_{\text{homo}} = 50$ wt%. Closely packed spheres in hexagonal closely packed (HCP) and face-centered cubic (FCC) lattices were observed for the sample with $\phi_{\text{homo}} = 56$ and 67 wt%, respectively. It was found that the lattices of spherical

micelles assembled into the following phases with increasing ϕ_{homo} : Frank-Kasper σ , HCP, and FCC phases. **J. Fiber Sci. Technol.**, 74(1), 10-16 (2018) doi 10.2115/fiberst.2018-0002 © 2018 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Strain Hardening of Highly Stretchable Elastomeric Composites Reinforced with Well-Defined Nanofiber Network of Bacterial Cellulose

Yoshihiko Shimizu^{*1,2}, Keita Sakakibara^{*1}, and Yoshinobu Tsujii^{*1}

^{*1} Institute for Chemical Research, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan

^{*2} Matsumoto Yushi-Seiyaku Co., Ltd., 2-1-3, Shibukawa-cho, Yao, Osaka 581-0075, Japan

Highly stretchable poly(ethyl acrylate) (PEA) composites reinforced with a well-defined nanofiber network of bacterial cellulose (BC) were prepared via stepwise solvent exchange followed by *in situ* photo-initiated free radical polymerization. Despite the small volume fraction of BC (approximately 0.4 vol%), the BC/PEA composite showed significant increases in Young's modulus (26 times larger than that of the neat PEA), tensile strength (3.5 times larger), and fracture energy (3.8 times larger), with its fracture strain (1520 %) almost the same as that of the neat PEA (1660 %). This composite was characterized by effective strain hardening. The changes in strain-hardening modulus and tensile strength were explained well by the rule of mixtures. Confocal laser scanning microscopic observations revealed the structure of the nanofibers embedded in the elastomeric matrix. The enhanced mechanical properties were discussed based on the rigidity and flexibility of the BC nanofibers and their entangled network and were ascribed to the well-defined BC nanofiber network produced by the bacterium. **J. Fiber Sci. Technol.**, 74(1), 17-23 (2018) doi 10.2115/fiberst.2018-0003 ©2018 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Mechanical Properties and Preparing Processes of the TEMPO-Oxidized Cellulose Nanofibers Hydrogels

Yohsuke Goi^{*1}, Tsuguyuki Saito^{*2}, and Akira Isogai^{*2}

^{*1} Development Group Rheocrysta Business Division DKS Co. Ltd., 5 Ogawara-cho, Kisshoin, Minami-ku, Kyoto 601-8391, Japan

^{*2} Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, 1-1-1 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8657, Japan

Aqueous TEMPO-oxidized cellulose nanofiber (TOCN) dispersions can be converted to hydrogels by adding an acid or polyvalent metal salt solution. Here we report the mechanical properties of the TOCN hydrogels in terms of gelling additives. The mechanical properties of the hydrogels were significantly

affected by the added amount and chemical structure of the additives. The breaking strength of the hydrogels became higher with a decrease in pH value of the gels, suggesting that surface-carboxylated TOCNs were more strongly aggregated at pH <4. At the same pH 2.8, the gel strength became higher when the valence of added metal ions was higher; the hydrogels of physically aggregated TOCNs were further reinforced by cross-linking of TOCNs with polyvalent metal ions. Moreover, the composite hydrogels of TOCN and water-soluble carboxymethylcellulose (CMC) were prepared by adding aluminum acetate to aqueous TOCN/CMC mixtures. The strength of the composite hydrogels had unique properties, different from the conventional composite theory. These results suggest that in the TOCN/CMC composite hydrogels, specific interactions or entangled structures are present between TOCNs and CMC molecules. **J. Fiber Sci. Technol.**, **74(1)**, 24-29 (2018) doi 10.2115/fiberst.2018-0004 ©2018 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Effect of Molecular Weight on Physical and Crystallization Properties of UHMW-poly [(R)-3-hydroxybutyrate-co-(R)-3-hydroxyhexanoate]

Taizo Kabe^{*1,2,3,4}, Takashi Sugiura^{*1}, Takaaki Hikima^{*5}, Masaki Takata^{*4}, and Tadahisa Iwata^{*1,3,4}

^{*1} *Science of Polymeric Materials, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, 1-1-1 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8657, Japan*

^{*2} *Materials Structure Group I, The Research and Utilization Division, Japan Synchrotron Radiation Research Institute (JASRI), 1-1-1 Kouto, Sayo-cho, Sayo-gun, Hyogo 679-5148, Japan*

^{*3} *Japan Science and Technology Agency, CREST, 4-1-8, Honcho Kawaguchi, Saitama 332-0012, Japan*

^{*4} *Materials Visualization Photon Science Group, RIKEN*

SPring-8 Center, 1-1-1 Kouto, Sayo-cho, Sayo-gun, Hyogo 679-5148, Japan

^{*5} *Research Infrastructure Group, RIKEN Harima Institute/SPring-8 Center, 1-1-1 Kouto, Sayo-cho, Sayo-gun, Hyogo 679-5148, Japan*

Ultra-high-molecular-weight poly[(R)-3-hydroxybutyrate-co-3.2 mol%-(R)-3-hydroxyhexanoate] (UHMW-PHBH), with a weight-average molecular weight (M_w) of approximately 400×10^4 , is extracted from genetically engineered microbial cells via an optimized solvent extraction method. PHBH polymers with various molecular weights (various MW-PHBHs) are prepared from the UHMW-PHBH using H_2SO_4 treatment. The thermal properties and spherulite growth morphology of the UHMW-PHBH and various MW-PHBHs are analyzed in order to investigate the properties of UHMW-PHBH and the effect of the molecular weight on the above properties. The value of T_m and T_g were same regardless of M_w above 62×10^4 . The crystallization half time ($t_{1/2}$), as an index of overall crystallization speed, of UHMW-PHBH did not change, compared with that of normal molecular weight PHBH. The observation of crystallization morphology revealed that molecular chains with high-molecular-weight lead to decrease the growth rate of spherulite and increase the crystal nuclei forming frequency. Drawn films of UHMW-PHBH are prepared by one-step or two-step cold-draw methods, and their mechanical properties and highly ordered structure are analyzed by tensile tests and X-ray measurements, respectively. One-step cold-drawn UHMW-PHBH films exhibit enhanced properties relative to those of normal-molecular-weight PHBH. Wide-angle X-ray diffraction and small-angle X-ray scattering reveal that the one-step cold-drawn UHMW-PHBH possesses the rare β -form crystal structure. Additionally, the β -form crystal are increased drastically after two-step drawing process with increasing tensile stress. The crystal structure of those films were also investigated by synchrotron X-ray. **J. Fiber Sci. Technol.**, **74(1)**, 30-39 (2018) doi 10.2115/fiberst.2018-0005 ©2018 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

会告 2018

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 74, No. 1 (January 2018)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
2018. 1. 15(月)	フロンティアソフトマター開発専用ビームライン産学連合体ー第7回研究発表会プログラム(案)ー(福岡市・九州大学西新プラザ)	A9
1. 20(土) 1. 27(土)	京都友禅の技法を次世代に伝えるための染色体験実習(京都市・京都工芸繊維大学)	A10
1. 24(水)	2018 学術ミキサー(共催)(大阪市・大阪市中央公会堂)	A7
2. 2(金)	繊維の技術講座『繊維学会技術レビュー』ー今、この製品(技術)が熱い!!ー(東京都・東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール)	A8
2. 9(金)	第52回先端繊維素材研究委員会(AFMc)公開ミニシンポジウムスポーツを支える人、素材ー(宇治市・京都大学宇治キャンパス おうぼくプラザ)	A9
2. 16(金)	第63回公開講演会(繊維技術)(大阪市・大阪産業創造館5F)	A10
2. 20(火)	アドバンテックセミナー 2018 ゴムの成形・加工(東京都・東京電業会館・地下ホール)	A10
2. 27(火)	第243回ゴム技術シンポジウム 医用・衛生用ゴムおよびゴム薬の衛生問題(東京都・東部ビル5階会議室)	A10
6. 12(火) ~14(木)	The Fiber Society's Spring 2018 Conference(東京都・タワーホール船堀)	A6
6. 13(水) ~15(金)	2018 年度繊維学会年次大会(東京都・タワーホール船堀)	A3~5
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	2010年6月号
	繊維学会定款(2012年4月1日改訂)	2012年3月号
	Individual Membership Application Form	2012年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(2012年1月1日改訂)	2014年1月号
	訂正・変更届用紙	2014年3月号

「繊維学会誌」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)
編集副委員長	鬮谷 要(和洋女子大院) 出口 潤子(旭化成株)
編集委員	植野 彰文(KBサーレン株) 大江 猛(大阪産業技術研究所) 大島 直久(東海染工株) 金 翼水(信州大学)
	澤田 和也(大阪成蹊短期大学) 杉浦 和明(京都市産業技術研究所) 高崎 緑(京都工芸繊維大院) 田村 篤男(帝人株)
	寺本 喜彦(東洋紡株) 西田 幸次(京都大院) 西村 高明(王子ホールディングス株) 増田 正人(東レ株)
	村上 泰(信州大学) 山本 洋(三菱ケミカル株) 吉田 耕二(ユニチカトレーディング株)
顧問	浦川 宏(京都工芸繊維大院) 松下 義弘(京都工芸繊維大院)

2017年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
2018 年学術ミキサー	2018年 1 月 24 日(水)	大阪市中央公会堂 (大阪)
繊維技術講座	2018年 2 月 2 日(金)	東工大蔵前会館ロイヤルブルーホール(東京)

2018年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
年次大会	2018年 6 月13日(水)~15日(金)	タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀)
通常総会	2018年 6 月15日(金)	
米国繊維学会春季大会	2018年 6 月12日(火)~14日(木)	年次大会と同時開催 (繊維学会共催)
第 48 回夏季セミナー	2018年 8 月 8 日(水)~10日(金)	滋賀県長浜市
秋季研究発表会	2018年11月 1 日(木)、 2 日(金)	福井大学

繊維学会論文誌 “Journal of Fiber Science and Technology” のオープンアクセス化と著作権の取り扱いについて

繊維学会では今般の学会誌の刷新に伴い論文誌を Journal of Fiber Science and Technology (JFST) としてリニューアル致しました。これに伴いより積極的な情報発信を指向し、どなたでも閲覧できるオープンアクセス方式に切り換えております。ここで我々が使用したオープンアクセスの解釈は狭義にはフリーアクセスとされる「閲覧自由」という理解であり、二次利用まで開放するという意味ではありません。

現在、オープンアクセスにおける著作権譲渡の取り扱いおよび公開情報の二次利用については、Creative Commons 準拠等の活発な議論が行われております。

本学会でも常に時代に対応したルールによる運用を目指して、この問題を慎重に検討しておりますが、Creative Commons の普及状況等を考慮すると、現在は中長期的判断の非常に難しいタイミングであると考えています。

従って、当面本学会ではこれまで通り著者様から著作権譲渡を頂き、掲載内容の二次利用については著作権保護の立場から一般社団法人学術著作権協会に著作権管理および利用許諾業務を委託して参ります。

各位におかれましては JFST 掲載の著作物をご使用頂く場合は、この点をご理解いただき適切にご対応頂きますようお願い申し上げます。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

(一社)学術著作権協会

TEL : 03-3475-5618 FAX : 03-3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone : 1-978-750-8400 FAX : 1-978-646-8600

2018年度繊維学会年次大会 研究発表募集

1. 日 時：2018年6月13日(水)～15日(金)
2. 場 所：タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)
〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1
TEL:03-5676-2211 FAX:03-5676-2501
<http://www.towerhall.jp/>
(交通) 都営地下鉄新宿線船堀駅下車北口徒歩約1分



3. 開催概要

繊維学会年次大会は、繊維・高分子科学に携わる研究者や技術者が一堂に会し、研究成果の発表を行い、参加者と充実した議論やコミュニケーションができる場を提供することを開催の基本方針としています。また、「若手優秀口頭発表賞」と「若手優秀ポスター賞」を授与し、活躍する若手研究者の顕在化を図ります。例年、多数の一般発表に加え、依頼講演もあります。会員の皆様には、ご自身の最新の研究成果の発表の場、議論討論の場、ネットワークを広げる場として、本年次大会を積極的にご活用ください。

4. 期間中の主な行事

研究発表のほか、特別講演、授賞式、学会賞受賞講演、懇親会、総会、技術賞受賞講演、ワインパーティー、企業展示などが行われます。

2018年米国繊維学会春季大会が6月12日(火)～14日(木)、タワーホール船堀で開催されます。これに伴い、総会を3日目(6月15日(金))午後に開催する予定です。

5. 発表分野

プログラム編成にあたり、発表内容を加味して、分野変更や分野統合などを行う可能性があります。予めご了承ください。

- [1. 繊維・高分子材料の創製] 1a 新素材合成、1b 素材変換・化学修飾、1c 無機素材・無機ナノファイバー・有機無機複合素材
- [2. 繊維・高分子材料の機能] 2a オプティクス・フォトニクス、2b エレクトロニクス、2c イオニクス、2d 機能膜の基礎と応用、2e 接着・界面/表面機能、2f 耐熱性・難燃性
- [3. 繊維・高分子材料の物理] 3a 結晶・非晶・高次構造、3b 繊維・フィルムの構造と物性、3c 複合材料の構造と物性
- [4. 成形・加工・紡糸] 4a ナノファイバー、4b 繊維・フィルム、4c 複合材料・多孔体
- [5. 染色・機能加工] 5a 染色、5b 機能加工
- [6. テキスタイルサイエンス] 6a 紡織・テキスタイル工学、6b 消費科学、6c 感性計測・評価
- [7. 天然繊維・生体高分子] 7a 紙・パルプ、7b 天然材料・ナノファイバー、7c 生分解性材料、7d バイオポリマー、7e バイオマス、7f セルロースナノファイバー
- [8. ソフトマテリアル] 8a 液晶、8b コロイド・ラテックス、8c ゲル・エラストマー、8d ブレンド・ミクロ相分離、8e その他ソフトマテリアル
- [9. バイオ・メディカルマテリアル] 9a 生体材料・医用高分子材料

6. 発表形式と応募資格

研究発表は口頭発表(A)およびポスター発表(P)の2形式で行います。さらにそれぞれに一般部門(1)と若手部門(2)を設け、下記の通り募集します。

A1：口頭発表(一般)、P1：ポスター発表(一般)

A2：口頭発表(若手)、P2：ポスター発表(若手)

A2 および P2 の応募資格と注意事項

A2 は若手優秀口頭発表賞、P2 は若手優秀ポスター賞の審査対象になります。

A2 および P2 に応募いただける方は、2018 年 4 月 1 日現在で以下のとおりです。

A2：博士後期課程学生以上 40 歳未満の学会員

P2：博士の学位を持たない 30 歳未満の学会員

若手優秀ポスター賞の表彰は、2 日目のワインパーティーで行います。若手優秀口頭発表賞の受賞者は、大会終了後、学会ホームページ・学会誌で公表します。

7. 発表申込と予稿原稿投稿

発表申込/予稿原稿は、いずれも学会 Web サイト(<http://www.fiber.or.jp>)の「2018 年度繊維学会年次大会」のページで発表 1 件ごとに申込/投稿してください。受付開始と締切の日時は以下のとおりです。

発表申込期間：2018 年 1 月 26 日(金) 17 時まで

予稿原稿投稿(A1、P1、P2)：2018 年 3 月 5 日(月)～3 月 30 日(金) 17 時

予稿原稿投稿(A2のみ)：2018 年 3 月 5 日(月)～3 月 9 日(金) 17 時

予稿原稿の書式

予稿集発行日：2018 年 6 月 6 日(水)(Web での閲覧開始日)

(注意)締切直前は Web が込み合いますので、早めに申込/投稿してください。また、締切期限を過ぎますと自動的に Web が閉鎖され、以後は受け付けられなくなります。発表申込に関する要望・問い合わせは、学会事務局へお願いします。

A2 応募対象者は、予稿原稿投稿期間が異なります。期間内に投稿していない場合、審査対象から除外しますので、くれぐれもご注意ください。

8. 発表方法：

口頭発表：1 件につき 20 分間(発表 15 分+質疑 5 分)とします。会場に、液晶プロジェクター、ミニ D-Sub 15 ピン(オス)ケーブル、PC 切替機が準備されています。パソコンは発表者自身をご持参ください。ミニ D-Sub 15 ピン端子のないパソコンを用いる場合は、変換アダプタもご持参ください。

ポスター発表：発表日の 10:00 までに、ポスターをボードに貼付してください(ポスター掲示用の画紙は会場に用意されています)。オプリーションタイムの 40 分間は、発表者はポスター前に常について、説明をしたり質問に答えたりしてください。オプリーションタイム終了後、発表日の 18:00 までにポスターを撤去してください。ポスターボードの大きさは縦 180 cm 横 120 cm です。ポスター記載の発表題目、氏名、所属は英語と日本語併記、また、図表のキャプションは英語表記とします。

9. 参加登録

大会参加者および懇親会出席者は、発表の有無にかかわらず、登録が必要です。登録は事前登録を原則とします。事前登録締切後は、すべて当日登録扱いとなりますのでご注意ください。

事前登録締切：2018 年 4 月 27 日(金)

登録の際、繊維学会会員番号(個人会員、学生会員の方)が必要になります。会員番号は学会誌送付用封筒に記載されています。事前登録者は、事前登録締切までに参加登録料を下記のいずれかの方法でご送金ください。期間内に入金が確認できない場合は、当日登録料金となります。振込手数料は各自でご負担ください。

(1) 現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人繊維学会 年次大会係

(2) 銀行振込：三菱東京 UFJ 銀行 目黒駅前支店 普通口座 4287837

(加入者名)一般社団法人繊維学会

(3) 郵便振替：口座番号 00110-4-408504

(加入者名)一般社団法人繊維学会年次大会

※米国繊維学会に参加される方へ(日本居住者に限る)

米国繊維学会と年次大会を合わせた参加登録(特典あり)のご案内をします。ご案内の開始は1月を予定しています。

参加登録料・懇親会費

参加登録料	繊維学会 正会員	維持・賛助会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録料	10,000 円	10,000 円	18,000 円	3,000 円	6,000 円
当日登録料	12,000 円	12,000 円	20,000 円	5,000 円	8,000 円

懇親会費	繊維学会 正会員	維持・賛助会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録料	7,000 円	7,000 円	7,000 円	3,000 円	3,000 円
当日登録料	8,000 円	8,000 円	8,000 円	4,000 円	4,000 円

10. 問い合わせ先

ご不明の点は、学会事務局(TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp)にお問い合わせ

2018 年度繊維学会年次大会実行委員会

実行委員長：山延 健(群馬大)

実行副委員長：上原宏樹(群馬大)、坂 渉(花王)、橘 熊野(群馬大)、仲西 正(お茶女大)

担当理事：戸木田雅利(東工大)

実行委員：雨宮敏子(お茶女大)、荒木 潤(信州大)、石毛亮平(東工大)、上谷幸治郎(立教大)、植松英之(福井大)、
攪上将規(信州大)、兼橋真二(東農工大)、亀田恒徳(農研機構)、金慶孝(信州大)、葛原亜起夫(東京
家政大)、坂元博昭(福井大)、佐藤高彰(信州大)、芝崎祐二(岩手大)、鈴木正浩(信州大)、帯刀陽子
(東農工大)、田中稔久(信州大)、登阪雅聡(京都大)、永井大介(群馬大)、濱田仁美(東京家政大)、
村瀬浩貴(共立女子大) (五十音順)

学会事務局：野々村弘人、山本恵美

THE FIBER SOCIETY



Advancing Scientific Knowledge
Pertaining to Fibers and Fibrous Materials



一般社団法人
繊維学会
THE SOCIETY OF FIBER SCIENCE
AND TECHNOLOGY, JAPAN

The Fiber Society's Spring 2018 Conference

Co-organized by The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Fibers and Textiles for Value Creation in Connected Industries

June 12 - 14, 2018
Tower Hall Funabori
Tokyo, Japan

Plenary Speakers

Prof. Yoshiro Tajitsu, Kansai University
Prof. Sanjay Rastogi, Maastricht University

Call For Papers

The Fiber Society seeks papers on fundamental research related to the science and engineering of fibers and fibrous materials for its 2018 Spring Conference, scheduled for June 12 - 14, at Tower Hall Funabori, Tokyo, Japan.

Online submissions will be accepted on the Fiber Society website at www.thefibersociety.org. Guidelines for all contributions will be provided online.

Topics

- Fundamentals of Polymer Materials, Synthesis, Polymerization, Characterization and its physics
- Fundamentals of Fiber and Textile Science, Testing and Characterization
- Fiber Manufacturing & Characterization
- Dyeing and Finishing
- Design and Merchandising
- Smart Polymers, Fibers and Textiles
- Sustainable Polymer Materials
- Advanced Cellulose Fibers and Textiles
- Carbon Fibers and Advanced Composite Materials

Contacts

The Fiber Society, abstract submission
Pam Gabriel
pam.fibersociety@gmail.com

Local organizing committee
Megumi Yamamoto
fs2018@fiber.or.jp

2018 学術ミキサー(共催)

新年を迎えるにあたり、「2018 学術ミキサー」を大阪にて開催いたします。繊維関連の3学会共催による開催も4年目となりました。

平素よりご支援、ご指導を頂いております大学、研究機関、企業ならびに関連団体の方々との間で情報交換をしていただき、繊維関連の学術、産業について今後を展望したいと存じます。3学会によるスマートテキスタイル研究会も発足するなど今後とも3学会の連携を強めて行ければと願っております。

今回は、3学会会長からの新年の挨拶の後、経済産業省生活製品課より「日本繊維産業の今後の展開」についてご講演いただきます。

つづいてマーケティングの理論と実践において最前線でご活躍の博報堂ケトル嶋 浩一郎氏から「生活者の見えない欲望“インサイト”のとらえ方」のご講演をいただきます。

研究～製品開発～流通～サービス…分野を問わず、皆様に聞いていただきたい大変興味深い内容です。

各学会の維持会員・賛助会員はじめ大学・企業・団体会員の方々におかれましては、3学会の会員同士の連携や情報交換の貴重な機会です。多数の方々のご参加をお待ちしております。

共 催：(一社)繊維学会、(一社)日本繊維機械学会、(一社)日本繊維製品消費科学会

日 時：2018年1月24日(水) 13:00～17:00(受付12:30より)

会 場：大阪市中央公会堂 小集会室

(〒530-0005 大阪市北区中之島1丁目1番27号)

交通アクセス：大阪市営地下鉄御堂筋線淀屋橋<1>番出口から徒歩約5分・堺筋線北浜<19>番出口から徒歩約3分・京阪電鉄淀屋橋<1>番出口から徒歩約5分・中之島線なにわ橋<1>番出口から徒歩約1分・大阪市営バス8・62・88号系統淀屋橋(市役所前)徒歩約5分

内 容：(13:00～17:00)(受付開始は、12:30)

(13:00～13:15) 1. 3学会の会長挨拶

(13:15～13:55) 2. 講演①「日本繊維産業の今後の展開」(仮題)経済産業省生活製品課

(14:00～15:30) 3. 講演②「生活者の見えない欲望「インサイト」のとらえ方」

……………博報堂ケトル代表 嶋 浩一郎

企業側がニーズがあるはずだと思ってやった商品開発、マーケティング施策がまったく生活者に受け入れられないことがある。逆に、意外な商品やサービスが生活者に受け入れられたり、企業側が想定もしなかった方法で製品が使われるケースもある。生活者の真の欲望をとらえるのは難しい。なぜなら、生活者自身がその欲望に気付いていないからだ。生活者の見えない欲望「インサイト」はいかにしてとらえられるのか？

(15:30～15:45) 〈休憩〉

(15:45～17:00) 4. 交流会(軽食)

参加費：3,000円

定 員：70名(定員になり次第締め切らせていただきます)

申込方法：参加ご希望の方は、学会ホームページの申込フォームより必要事項を記入してお申込みください。

学会 HP : [//www.shohikagaku.com/](http://www.shohikagaku.com/)

問合せ先：(一社)日本繊維製品消費科学会

〒530-0042 大阪市北区天満橋2-2-7-403 アルカディーナ天満橋リバーサイド

TEL : 06-6358-1441 FAX : 06-6358-1442 E-mail : shohikagaku@nifty.com

繊維の技術講座

『繊維学会技術レビュー』— 今、この製品(技術)が熱い!! —

繊維及び関連技術に関してのリーディングカンパニーの最前線で活躍の皆様を講師に迎え、「繊維学会技術レビュー～今、この製品(技術)が熱い!!～」と題して、各社のPRしたいポイントとなる製品(技術)を講演いただきます。広く繊維及び関連技術に関わる事業を展開されている企業の技術や開発に携わる皆さまや、これから繊維に関わるビジネスを考えている技術者・研究者の皆様にとって、様々な有益な情報やヒントが発信されますので、奮ってのご参加をお待ちいたします。

学生会員にとっても、企業の最前線で活躍されている講師の方々に接するよい機会となると思いますので、積極的に参加いただいて、繊維及び関連業界や繊維学会の活動について理解を深めていただければと思います。

主催：一般社団法人 繊維学会

日時：2018年2月2日(金) 10:25～17:20(受付開始時間 10:00 から)

会場：東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール

〒152-0033 東京都目黒区大岡山2丁目12-1 TEL:03-5734-3737

〈アクセス〉東急目黒線・大岡山駅より徒歩3分

— プログラム —

- 10:30～11:10 『ポリエステル超極細捲縮テキスタイル“uts-FIT”の開発』
東レ株式会社 繊維研究所 増田正人
- 11:10～11:50 『高出力ゴム人工筋肉の開発』
株式会社ブリヂストン イノベーション本部 櫻井 良
- 11:50～13:00 昼食休憩
- 13:00～13:40 『熱融着スパンデックス『モビロン』の開発』
日清紡テキスタイル株式会社 商品開発部 勝野晴孝
- 13:40～14:20 『ポリマーだけじゃない ソロテックス® ファミリー』
帝人フロンティア(株) 技術・生産本部 技術開発部 友滝勇氣
- 14:20～15:00 『HEV・EV向けコンデンサ用極薄ポリプロピレンフィルムの開発』
王子ホールディングス株式会社 イノベーション推進本部 中田将裕
- 15:00～15:20 休憩
- 15:20～16:00 『再生セルロース繊維ベンベルグについて』
旭化成株式会社 繊維事業本部 ベンベルグ事業部 長尾元寛
- 16:00～16:40 『スーパー繊維の特性と構造』
東洋紡株式会社 総合研究所 機能材開発研究所 福島靖憲
- 16:40～17:20 『人工皮革〈クラリーノ〉』
株式会社クラレクラリーノ事業部 芦田哲哉

※技術講座終了後に、講師を交えた交流会(名刺交換会)を予定しております(17:20～18:00)。

定員：100名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：正会員・企業会員(維持・賛助会員含む)：15,000円 企業非会員：18,000円

大学官公庁関係会員：10,000円 大学官公庁非会員：14,000円

学生会員：3,000円 学生非会員：5,000円

申込方法：参加申込は繊維学会ホームページのイベント「技術講座」よりお願いします。

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208 一般社団法人 繊維学会

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp HP:http://www.fiber.or.jp/

フロンティアソフトウェア開発専用ビームライン産学連合体 — 第7回 研究発表会 プログラム(案) —

日時：2018年1月15日(月) 受付：11:30~12:30

会場：九州大学西新プラザ(福岡市早良区西新2-16-23)

1. 開会の挨拶

12:45~12:50	開会のご挨拶	司会：産学連携将来高度化委員	北九州市立大学 秋葉 勇
12:50~13:00	来賓挨拶	連合体代表 (株)クラレ	石井孝浩
		室長	西山崇志
		文部科学省科学技術・学術政策局 研究開発基盤課	量子放射線研究推進室
			センター長 石川哲也
		理化学研究所・放射光科学総合研究センター	
		連合体運営委員会委員長	九州大学 田中敬二

- 13:00~13:15 FSBLの現況について
2. 講演会 第1部

		座長：連合体産学連携将来高度化委員	東京大学 雨宮慶幸
13:15~13:35	住友ベークライト(株)		
13:35~13:55	東洋紡(株)		
13:55~14:15	高度計測技術開発プロジェクト	リーダー	高輝度光科学研究センター 大石泰生
14:15~15:05	特別講演①		国立研究開発法人理化学研究所 矢橋牧名
3. ポスター発表

15:05~16:05(場所：1F 展示コーナー) 連合体参画 18グループのポスター発表

16:05~16:15 休憩
4. 講演会 第2部

		座長：連合体運営委員会副委員長	京都大学 竹中幹人
16:15~17:05	特別講演②	高エネルギー加速器研究機構	金谷利治
17:05~17:25	三菱ケミカル(株)		
17:25~17:45	旭化成(株)		
17:45~18:00	BL03XUの2017年度新規整備について	ビームライン担当	高輝度光科学研究センター 増永啓康・加部泰三
5. 総括

18:00~18:10	総括	学術諮問委員	橋本竹治
		学術諮問委員	土井正男
18:10~18:15	挨拶	高輝度光科学研究センター理事長	土肥義治
18:15~18:20	閉会のご挨拶	連合体運営委員会副委員長	東京大学 岩田忠久
6. 懇親会 18:30~20:00

第52回先端繊維素材研究委員会(AFMc)公開ミニシンポジウム — スポーツを支える人、素材 —

スポーツの記録や栄冠は様々なサポートの上に成り立っているといわれています。メンタルや技術、コンディションをサポートするコーチやスタッフチームの方の努力のみならず、さらにウェアや道具の進化・カスタマイズもスポーツの発展をサポートしてきました。今回は元・なでしこジャパンのコーチで2011年FIFA女子W杯優勝を支えた望月先生、競泳水着の進化を研究されている高木先生を交え、「スポーツを支える」というテーマの講演を企画いたしました。奮ってご参加頂けますようお願い申し上げます。

主催：(一社)繊維学会・先端繊維素材研究委員会(AFMc)

日時：2018年2月9日(金) 13:00~17:05

会場：京都大学宇治キャンパス おうばくプラザ セミナー室4・5

プログラム

[特別講演]

- | | | | |
|-------------|--------------------|--------------------------|-------------------|
| 13:00~14:00 | 「個を育て、チームを創る」 | びわこ成蹊スポーツ大学 教授 | JFA インストラクター 望月 聡 |
| 14:00~15:00 | 「競泳の記録向上を支える水着の進化」 | 筑波大学 大学院人間総合科学研究科 体育系 教授 | 博士(工学) 高木英樹 |

15:00~15:20 休憩

[一般講演]

- | | | | |
|-------------|---------------------------------------|--------------|------|
| 15:20~15:55 | 「スポーツ用テキスタイルの開発」 | 東レ株式会社 | 土倉弘至 |
| 15:55~16:30 | 「自己強化プラスチック(SRP)の開発動向と運動動作に及ぼす効果について」 | ダイヤテックス株式会社 | 田辺洋平 |
| | | 帝人フロンティア株式会社 | 柴田園未 |

定員：約50名(先着順)

参加費：先端繊維素材研究委員会会員は無料(法人会員は2名まで無料、3名以降5,000円)、

会員外(大学繊維学会員)6,000円、会員外(企業繊維学会員)7,000円、

会員外(非繊維学会員)8,000円

申込方法：2018年2月2日(金)までに葉書、FAXまたはE-mailにて、氏名・所属・連絡先を記入の上、下記宛てお申込ください。

申込先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学化学研究所 高分子物質科学領域内 AFMc 係

TEL:0774-38-3142 FAX:0774-38-3146(AFMc 事務局直通) E-mail: zaibutu2@sci.kyoto-u.ac.jp

京都友禅の技法を次世代に伝えるための 染色体験実習

主催：京都工芸繊維大学(センター・オブ・コミュニティ事業地域貢献加速化プロジェクト)
共催：繊維学会染色研究委員会、繊維学会関西支部
日時：2018年1月20日(土)・27日(土)
会場：京都工芸繊維大学 15号館2階N205講義室
および3階N301実験室
対象・定員：高校生・大学生・25歳以下の染色に関心のある方 20名
プログラム：講義と実習
20日 担当講師
京都工芸繊維大学 澤田美恵子・安永秀計
・10:00~11:00 友禅染の歴史
・11:00~12:00 染色入門と友禅染の解説
・13:30~15:00 染色のモチーフとデザイン
(グループ分けと打ち合わせ)
27日 担当講師 (株)亀田富染工場 亀田和明
・10:00~17:00 染色実習(友禅染の技法の説明と染色実習)
参加費：無料
申込&問合せ先：京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 繊維学系 安永秀計
(京都市左京区松ヶ崎御所海道町)
TEL:075-724-7562
E-mail: yasunaga@kit.ac.jp

第63回公開講演会(繊維技術)

主催：日本繊維技術士センター
共催：日本技術士会近畿本部 繊維部会
日本染色加工同業会
日時：2018年2月16日(金) 13:30~16:30
会場：大阪産業創造館5F 研修室E
(大阪市中央区本町1-4-5)
プログラム：講演2件
「IoTを使って世界のお客様とつながる」～繊維機械の事例～
働く環境の変化にどう対応していくか、IoT導入の事例として当社の現状をご紹介します。
村田機械 里見眞一
「スマート テキスタイル技術動向と住江織物 繊維/布帛型太陽電池の開発」
繊維/布帛型太陽電池の開発の概要を、今後の繊維製品開発の参考としてご紹介します。
住江織物 源中修一
申込&問合せ先：日本繊維技術士センター(JTCC)本部
(大阪市中央区備後町3-4-9)
FAX:06-6484-6575
E-mail: jtcc@nifty.com

アドバンテックセミナー 2018 ゴムの成形・加工

主催：(一社)日本ゴム協会関東支部
日時：2018年2月20日(火) 10:15~16:45
会場：東京電業会館・地下ホール
(東京都港区赤坂1-7-8)
プログラム：講演5件
「ゴム成形加工の基礎、概論」
化学物質評価研究機構 隠塚裕之
「ゴムの混練り加工に関する最新事例と技術の変遷」
神戸製鋼所 三浦穂高
「押出加工生産性向上のための未加硫ゴムの特性」
西沢技術研究所 西澤 仁
「ゴム加工のシュミレーションの応用」
横浜ゴム 佐藤有二
「ソフト材料の3Dプリンティングとソフトマターロボテックス」
山形大学 古川英光
詳細はホームページ <http://www.srij.or.jp/>を参照ください。
問合せ先：日本ゴム協会関東支部
(港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階)
TEL:03-3401-2957
E-mail: srij.kanto@srij.or.jp

第243回ゴム技術シンポジウム 医用・衛生用ゴムおよびゴム薬の衛生問題

主催：(一社)日本ゴム協会研究部会
衛生問題研究分科会
日時：2018年2月27日(火) 9:50~17:05
会場：東部ビル5階会議室(東京都港区赤坂1-7-8)
プログラム：講演6件
「ゴム・高分子によるアレルギーと検出法」
化学物質評価研究機構 武吉正博
「天然ゴムのラテックスアレルギー問題と解決策」
長岡技術科学大学 河原成元
「ラテックスナノ粒子の細胞毒性と生体組織工学への応用」
豊田工業大学 岡本正巳
「脱タンパク天然ゴムラテックスの工業的生産と市場の状況」
住友ゴム工業 高井 淳
「架橋高分子を強硬化するロタキサン架橋剤」
東京工業大学 高田十志和
「有機系ゴム薬品の衛生問題；現状と今後の課題」
大内新興化学工業 有我 望
問合せ先：日本ゴム協会
第243回ゴム技術シンポジウム係
(港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階)
TEL:03-3401-2957
E-mail: kenkyuubukai@srij.or.jp